

# Library

## 町生涯学習センター図書室からの10月のおすすめ図書

### Library Information

#### 図書室からのお知らせ

##### ■臨時休館について

10月16日(日)は、町役場庁舎および町生涯学習センター内の施設における電気系統点検のため、図書室は、午前中のみ臨時休館となります。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

##### ●臨時休館の日程

10月16日(日) 午前9時～午後1時

●図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先  
町生涯学習センター図書室  
☎096-234-1111(内線331)  
✉klg110@town.kosa.lg.jp

#### 呪いと殺人の謎に文化人類学者が挑む 川瀬 七緒著 / 『よるずのことに気をつけよ』



講談社  
小説

第57回江戸川乱歩賞受賞作。呪いで、人が殺せるか。変死体のそばで見つけた「呪術符」を手掛かりに、呪術の研究を専門にする文化人類学者が殺人事件の真相に迫る。謎が謎を呼ぶ呪術ミステリーの快作長編。全編に漂う独特の世界観に引きつけられるとともに、登場人物も魅力的で、一気に読んでしまう一冊です。

#### 津波を伝えるおばあちゃんの紙しばい 田畑 ヨシ著 / 『つなみ』



産経新聞出版  
娯楽教養

岩手県宮古市の田老地区に住む86歳になる田畑ヨシさんが、30年間、「昭和の大津波」の体験について、長年にわたって語り継いできた紙芝居。東日本大震災をきっかけに、改めて脚光を浴びています。現在にも通じる、先人の知恵がちりばめられた手作りの紙芝居を、オールカラーで収録。素朴な絵から、ヨシさんの思いが伝わってきます。

#### おおきなかぶ、むずかしいアボカド 村上 春樹著 / 『村上ラヂオ 2』



マガジンハウス  
一般書

「人の悪口を具体的に書かない。言い訳や自慢をなるべく書かない。時事的な話題は避ける」。これが、著者がエッセイを書くときに自ら課したルール。そんな法則にのっとって書かれた、どうでもいいようだけど、心にしみるエピソード。心のこりをときほぐしてくれるハートウォーミングな居心地の良さを、ぜひ味わってみてください。

#### 生きる勇気が湧いてくる36の言葉 相田 みつ著 / 『うばい合えば足らぬわけ合えばあまる』



ダイヤモンド社  
絵本

書家で、詩人の相田みつをの生きる勇気が出る36の言葉集。没後20年を記念し、未発表の原稿と書籍化初の作品を収録。相田みつをが、人としての生き方をやさしく教えてくれます。毎日の暮らしの中で、普段意識しないことや気付かないことを、とてもシンプルなのに奥が深い言葉で、目の前にそっと差し出してしてくれる、そんな一冊です。

#### 町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人3冊まで、8日間

**魔** 女がさがしているのは、100パーセントの黒猫だけど、コットンという猫は、85パーセントだけが黒猫です。

シルクはコットンが気に入っていることをきっぱりと言いました。

もともと、シルクはとても感じのいい魔女とはいえませんが、いまは、いつもよりずっと機嫌が悪いようにみえます。

コットンが言いかえすのをやめて、ため息をつく

シルクは、一度目をつぶってから、こんどはちょっとすまなそうな声で小さく言いました。

魔法洋裁学校でも優秀だった

#### 今月の案内人



石井さくらちゃん  
(上早川三区)

#### ～ My Favorite Story ～

### 私のおすすめ図書

『なんでも魔女商会』⑮ (あんびる やすこ著)

100%の完ぺきさでドレスを仕上げる魔女の「シルク」と、85%しか黒くない魔女猫の「コットン」の出会いとは?。コットンがナナに話す、ちょっとステキな思ひ出話。

シルクは、『なんでも魔法商会お仕立て支店』ではたらくことをずっと夢みてきたという話です。

わたしの感想として、シルクは、とっても相棒がほしいんだなと思いました。

わたしは、100パーセントの黒猫と85パーセントの黒猫をみくらべてみたいと思いました。85パーセントの黒猫がいるなんてびっくりしました。魔女は、黒猫がとても好きなんだと思いました。

みなさんも、ぜひ、85パーセントの黒猫という本をみてみてください。

●あなたの「おすすめ図書」をご紹介してみませんか?  
町生涯学習センター図書室

☎096-234-1111(内線331)

✉klg110@town.kosa.lg.jp

## Public Hall

### 町公民館からのお知らせと話題

#### 町公民館

#### 県から優良公民館表彰

9月2日(金)阿蘇市で、平成23年度県公民館大会・県社会教育研究大会が開催され、町公民館が、県公民館連合会から「優良公民館」として表彰されました。



▲県公民館連合会が町公民館を「優良公民館」として表彰

同大会は、県内の公民館関

係者など約600人が参加。講演、事例発表などが行われ、開式行事の中で表彰が行われました。

#### ▶町公民館主催講座「子ども講座」 「スイーツ作り」に挑戦!

9月の講座は、町農業研修センターで、フルーツみつ豆を作りました。



▶親子で一緒に楽しくスイーツ作り体験

参加者32人。フルーツを食べやすい大きさに切った後、白玉粉に豆腐を入れた白色団子と練り黒ゴマを入れた黒色団子などで、かわいいパンダの顔を作り、みつ豆に入れ、メイプルシロップをかけて出来上がり。「食べるのがもったいないなあ」と、子どもたちはつばやきながら笑顔で食べました。

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先  
町教育委員会公民館事務局  
☎096-234-1111(内線321)  
✉klg110@town.kosa.lg.jp

#### 視察研修

#### 本渡南公民館が来町

9月6日(火)、天草市から本渡南公民館関係者23人が、町公民館を視察研修で訪れました。

同公民館は、人口約9,400人3,400世帯の本渡南小学校区で活動し、自治公民館が21館あります。

町公民館は、高齢化社会での世代間交流や地域連帯意識の形成などに積極的に取り組むとともに、地域住民の生涯学習の振興に大きく貢献したことが評価されて、今回の表彰となりました。



▲天草市の本渡南公民館関係者による視察研修で情報を交換

研修では、町公民館で取り組む年間事業や主催・自主講座の運営、部落公民館における出前講座と地域交流学習の

実施状況などについて説明。

同公民館は市町合併により公民館数が少なくなり活動が減退していることから、町公民館が主催する出前講座での取り組みなどについて参考にするために、質問が集中。「今後は自治公民館と連携協力しながら、活動の活性化を図りたい」と話しました。

## Human Rights

### 人権 ～心豊かに暮らすために～

#### 同和問題の解決を目指して

##### ●思い込みや偏見をなくす

私たちは、一人ひとりの個性を見ずに、ある集団に固定的なレッテルを貼って一方的に評価してしまうことがあります。これは、偏見や差別につながります。偏見は、科学的な根拠のないうわさなどを安易に受け入れて物事を一面的にしか見ないなど、自分自身で考えて判断しようとする態度から生まれます。偏見をなくすには、正しく見ようとする意欲、相手の立場や気持ちに分かろうとする姿勢、表面的に

とらえず掘り下げる見方が大切です。

##### ●迷信や世間体にとらわれない

血筋や家柄、迷信にこだわるなど、非合理的な考え方や誤った意識で判断や行動をしてしまうことはないでしょうか。また「おかしい」と感じて、「周りの人はどう思うか」といった世間体にとらわれている傾向があるのではないのでしょうか。他人のうわさなどに影響されない広い視野を持ち、自分自身で考え、判断することが大切です。

##### ●同和問題の正しい理解

最も大切なことは、同和問題につい

て正しく学ぶことです。そのことで、いかに部落差別が不合理なものであるかに気付くはずです。

このことは同和問題だけでなく、さまざまな人権問題にも共通することです。また、差別の不合理を学ぶことによって、自分自身の人権感覚を磨くことにもなり、これからの生き方に必ず役立つものです。

- 人権に関するお問い合わせ先  
町教育委員会社会教育課  
☎096-234-1111(内線323)  
✉klg110@town.kosa.lg.jp